



昨年12月に「アンダンチ」内で開催された「クリスマスマーケット」の様子。地域の方が500人も集まりにぎわいを見せた。

「子どもから大人まで、地域の方々もよくご利用されていると伺いました。私たちはここを、高齢者に限らず、多くの人が集まる「縁側」のような存

人が自然に集まる 「地域の縁側」を目指して

談を受けました。義父は腎臓の専門医で、透析療法を受けている患者さんが自分の行く末を案ずる様子を見るにつけ、その方々が少しでも安心して暮らせる住まいについて考えるようになったそうです。私は当時、商社勤めをしていました、ちょうど仕事が面白くなってきたところだったのでとても迷ったのですが、話を聞くうち義父の最高のフォローになるとういう決意のもと、2013年9月、会社を退職し未来企画代表に就任しました。

在にしたいと日々思っているのですが、最近その一端が見えてきたと感じています。

一例を挙げますと、交流スペースに置く本を「地域でシェアしましょう」と呼びかけたところ、すぐにたくさんの方が集まりました。それを地域の方が借りに来てくれたり、保育園で使ったりしています。駄菓子屋には小学生がよく来てくれますし、その保護者や先生までもが来てくださいます。昨年クリスマスマーケットを開催したところ、住民の方々が1日で500人ほど集まってくれました。このときに物販で参加した方からの「要望で、今年1月からは「アンダンチマルシェ」という催しを始めたところです。それと、「福ちゃんの家」の2階とサ高住1階の共有リビングを子育てサークルの方々に使ってもらっています。今後はサ高住1階の共有リビングで地域の方が先生役を務める絵画教室や英会話教室などを開いてもらおうと考えています。

「今後の抱負をお聞かせください。」

私たちが目指す、自然と人が集まり、高齢者の方が生き生きと暮らす場をつくるためには、これからますます地域の方々のお力を借りなければなりません。この荒井エリアは震災で被災した方々の集団移転の地域にもなっていますし、以前からこの辺りに住んでいた方、地下鉄東西線の開通によりできたニュータウンに移り住んだ若い世代など、さまざまな方が暮らされています。

地域に必要なものを コンパクトに実現

「複合福祉施設「アンダンチ」とは、どのような施設なのでしょうか。」

私たちは、2015年から仙台市内の別の場所で「福ちゃんの家」という小規模多機能ホームを運営しています。「アンダンチ」は、そこで得た地域の情報や経験、自分たちの実感などをとに開所しました。

多世代交流複合施設と謳っているように、敷地内にはサービス付高齢者向け住宅（以下、サ高住）である「アンダンチレジデンス」をはじめ、看護小規模多機能型居宅介護事業所「HOC（ホック）カンタキ」、企業主導型保育園「アンダンチ保育園」、障害者が実際に仕事に取り組み就労継続支援B型事業所「アスノバ」などが入っており、このほか、寝かせ玄米を提供する飲食店「いろは」、駄菓子屋「福のや」、セミナーやイベントの会場として使えるコミュニティスペースも併設しています。同じような施設は他の地域にもあるのですが、1000坪ぐらいの敷地でコンパクトに展開しているのは全国的にも珍しいかもしれません。

「アンダンチ」は、どのような考えや思いを持ってつくられたのですか。」

まず「アンダンチ」という名称ですが、仙台の方なら声に出していただくとその意味に気付かれるのではないで

しょうか。正解を言いますと、仙台の方言で「あなたの家」という意味です。地域性のある名前が良いと思います、たくさんの方を挙げながら考えに考え抜いて名付けました。最後の「チ」には、あなたの「地（場所）」であり、「知（知恵）」でもあるという思いも込めています。

「あなたの家」ではありませんが、私たちは、ここを利用する方々の暮らしを、この建物の中だけで完結させたくないと考えています。ケアする側にとってはその方が楽かもしれません。しかし、これまで人生を頑張ってきた高年齢者の方々には、これからの時間も、自分が思うように、心豊かに暮らしていただきたいと思っっているんです。そのためには、地域の力を借りながら、子どもや高齢者のほか、医療や介護が必要な人もそうでない人も、誰もが気軽に集まれる場所が必要なのではないかと考え、こうしたさまざまな施設が入った開放的な場をつくったというわけです。

医師である義父の 最高のフォローに

「なぜこのような施設を手がけることになったのですか。」

施設内にある「HOCカンタキ」を運営している堀田修クリニックの院長は、実は私の義父にあたります。2011年にクリニックを開業し軌道に乗ってきたころ、義父から「在宅診療を始めたいと思っっている」という相

【概要】 株式会社未来企画

代表者：福井 大輔
設立：2011年8月
資本金：500万円
社員数：70人（パート含む）（2019年3月1日現在）
事業内容：小規模多機能ホームやサ高住などの介護事業、就労継続支援B型事業所をはじめとした障害福祉事業を運営。また、企業主導型保育園や21世紀型総合キッズスポーツスクール「biima sports」も手がける。
所在地：仙台市若林区荒井7丁目4-1
TEL. 022-352-7613
ホームページ：https://andanchi.jp/



より良い環境をめざす。

青葉環境保全 **AOBA**

〒984-0037 仙台市若林区蒲町19-1 TEL.022(286)3161(代)

クローズアップインタビュー

「アンダンチ」は『地域の縁側』。人が集まり、高齢者が心豊かに暮らせる施設を目指していきます。

株式会社未来企画
代表取締役

ふくい だいすけ
福井 大輔 氏

プロフィール

1983年生まれ。塩釜市出身。血液型A型。早稲田大学スポーツ科学部を卒業後、商社勤務を経て2013年10月より現職。介護事業として2015年7月に小規模多機能ホーム「福ちゃんの家」を開所。また、居宅介護支援・訪問介護事業所「LDF」を運営しながら、2018年7月「アンダンチ 医食住と学びの多世代交流複合施設」を開所。さらに、早稲田大学教授陣監修による21世紀型の総合キッズスポーツスクール「biima sports」とのパートナーシップ契約を締結し、同年11月より荒井、松森、富谷でスクールを開校。趣味は旅行。

